



きんぼし  
東大阪

## 木田バルブ・ボール 株式会社

〒578-0932

東大阪市玉串町東 3-1-36

TEL 072-963-2441

FAX 072-963-5812

http://www.kvb.jp

E-mail:info@kvb.jp



代表取締役  
木田 浩史

★創業  
1964年(昭和39年)

★資本金  
4,500万円

★従業員  
60人

★主要営業品目  
ボールバルブの弁体、球体、精密  
型打鍛造品

★トップシェア製品  
ステンレス製のボールバルブの弁  
体用ボール(60%)

# 独自の球面加工機で 難削材ステンレス鋼克服

木田バルブ・ボール(株)のトップシェア製品はボールバルブの弁体用のボールで、中でもステンレス製に特化し60%のシェアを有している。

ボールバルブの弁体用ボールは球径Φ1,200mmの大型から、Φ10mmに満たない小径のものまでロット数1個から量産まで受注出来る体制を整えている。弁体用ボールには真球精度と表面粗さ精度が求められ、これらを満たす球体加工技術が同社の独自技術となっている。

ステンレス製ボールバルブの弁体用ボールの開発は、ひとえに難削材ステンレス鋼の克服にあった。ステンレス鋼の球体加工は刃物・治具・加工機の工夫が必要で、同社の持つ高い技術の蓄積と永年の経験がものを云う。特に球体切削加工機、球体研磨加工機などは全て同社のオリジナルマシンとなっている。

また、素材の鍛造(三重県伊賀工場)から球体研磨(本社工場)まで全て自社で自在に品質、納期をコントロールできる体制を整えており、高品質を求める顧客ニーズに対して迅速に応じている。球体の切削加工のみの加工依頼、球体の研磨のみの加工依頼も近年増えており、独自の0.5ロットの受注体制も同社の特徴の一つでもある。加工材質はSUS全般、ハステロイ、インコネル、チタン、ニッケル溶射材、タングステン溶射材、セラミック、コバルトクロム合金や樹脂全般など殆どの材料に対応している。

創業以来積み重ねてきた、独自の加工技術の開発には余念がなく、近年では医療用人工股関節に使用する球体にも同社の技術が採用されている。真球精度1μ未満、表面粗さRa0.03を量産出来る体制も整えている。

今後は更に球体加工に関する技術開発、新規事業に対する研究開発を行い、あらゆる分野へ視野を広げていく考えである。

